

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態治療各論 I	1	30	1	医師 医師 (公益社団法人 地域医療振興協会に委託)
ねらい	人体の機能を基本とし、呼吸器、循環器系疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1回目(講師)	<b>【呼吸器】講師 (14時間)</b> 1. 症状とその病態生理(喀痰、血痰、喀血、咳嗽、胸痛、呼吸困難、他覚症状) 2. 検査と治療・処置(血液検査、喀痰検査、胸水検査、画像診断、内視鏡検査、生検、呼吸機能検査、睡眠時モニタリング、吸入療法、酸素療法、人工呼吸療法、呼吸理学療法、気道確保、胸腔ドレナージ) 3. 疾患の理解 1) かぜと急性気管支炎、インフルエンザ、肺炎、結核 2) 間質性疾患、気道疾患、肺血栓塞栓症、呼吸不全、呼吸調節に関する疾患 3) 肺腫瘍、肺・肺血管の形成異常、胸膜・縦隔・横隔膜の疾患、肺移植、胸部外傷 4. 呼吸器外科(開胸術、胸腔鏡手術)			講義
2回目(講師)				講義
3回目(講師)				講義
4回目(講師)				講義
5回目(講師)				講義
6回目(講師)				講義
7回目(講師)				講義
1回目(講師)	<b>【循環器】講師 (15時間)</b> 1. オリエンテーション・グループ決め・テーマ割り振り 2. 循環器総論・第3回の発表準備			GW
2回目(講師)	3. 発表:狭心症・心筋梗塞、質問、第4回の発表準備			GW
3回目(講師)	4. 発表:心不全、質問、第5回の発表準備			講義
4回目(講師)	5. 発表:高血圧、質問、第6回の発表準備			講義
5回目(講師)	6. 発表:心臓弁膜症・心筋症など、質問、第7回の発表準備			講義
6回目(講師)	7. 循環器総論、発表:不整脈、質問			講義
7回目(講師)	8. 血管疾患、総括、試験について			講義
7.5回目(講師)	終講試験(45分)			講義
15回目(45分)				試験
教科書	系統看護学講座 専門分野II 講師:成人看護学② 呼吸器 講師:成人看護学③ 循環器 (医学書院)			
評価方法	筆記試験(1時間 [45分間] :100点) 講師:50点 ・ 講師:50点			
備考	講師～発表形式 Power point、Word、模造紙(5枚以上)。いずれも内容に沿ったレジメを作ること			

